



ながしま

議会だより

NO.28

夕陽の名脇役 長崎鼻灯台

明治30年に初点灯した長崎鼻灯台。
建て替えを重ね、
昭和52年に現在の灯台となった。
町内屈指の夕陽スポットとなっている。

3月定例会

(H25.3.11 ~ 3.22)

定例会で決まったこと	2~7
町政を問う(一般質問)	8~12
常任委員会の審査報告	13~14
研修報告	15

平成25年度の一般会計予算は

86億7037万8千円

平成25年度の一般会計予算のほか、国民健康保険、国民健康保険診療施設、へき地診療施設、介護保険、簡易水道、諸浦港埠頭、農業集落排水、漁業集落環境整備、特定地域生活排水、水産種苗供給、後期高齢者の11特別会計予算を原案可決した。今回、計上された予算の主な事業は次のとおり。

主な事業

役場前駐車場等整備（鷹巣）	31,000 千円
議会中継、音響システム機器の更新	25,000 千円
参議院議員選挙費	14,098 千円
ながしま造形美術展の開催	15,000 千円
自治公民館チャレンジ提案事業	10,000 千円
空き家改修補助	9,000 千円
水産加工グループ育成補助	22,486 千円
蔵之元漁港港整備	55,000 千円
有害鳥獣捕獲事業	18,328 千円
農地深耕・造成・客土の補助	12,150 千円
町道山門野汐見線の整備	150,000 千円
町道萩之牟礼茅屋線の整備	112,500 千円
町道鷹巣杉ノ段線の整備	49,000 千円
町道行人岳線の整備	108,500 千円
町道瀬戸小島線の整備	32,500 千円
長島港（口之福浦地区）の測量設計、整備	91,000 千円
長島港（浦底地区）の測量設計	13,000 千円
長島港（諸浦地区）の可動橋等整備	157,900 千円
小学校のパソコン教室備品の購入	23,195 千円
長島町文化ホール改修完成記念公演	10,000 千円



議会中継・音響機器を更新



造形美術展を開催



小学校のパソコンを更新



新築された獅子島幼稚園・小学校を調査する建設経済文教常任委員会

平成25年第1回長島町議会定例会は、3月11日から22日までの12日間の会期で開かれた。

平成25年度の一般会計予算（86億7037万8千円）や特別会計予算、平成24年度の補正予算、長島町暴力団排除条例の制定、日本マンダリンセンターと長島町総合交流ターミナル施設の指定管理者の指定、長島港（諸浦地区）港整備交付金工事の工事請負契約変更など議案45件を可決した。

このほか、長島町議会活性化調査特別委員会の発委により長島町議会基本条例を制定し、長島町農業委員会委員を推薦、教育委員会委員の任命に同意した。

条例

議会基本条例を定める

町議会の公平性、透明性および独自性を確保することにより、町民に開かれた議会の実現や議会への町民参加を推進し、町の活力あるまちづくりの実現に寄与するため、長島町議会活性化調査特別委員会（池田廣委員長）の提案により、長島町議会基本条例を制定した。

この条例には、一般質問に一回一答方式を活用することや、町民と町議会との意見交換の機会を設けることなどが盛り込まれている。



基本条例を定めた町議会

条例

公営住宅条例の一部を改める

マンダリン団地2戸を新築したとともに、公営住宅法の一部改正に伴い、長島町公営住宅条例の一部を改正した。



1棟2戸新築したマンダリン団地

契約

長島港（諸浦地区）港整備の契約変更

長島港（諸浦地区）港整備交付金工事を株式会社長崎組と1億374万円で契約締結していたが、追加工事を実施するため、契約金額を1億1217万1千円に増額する変更契約を締結することを議決した。



追加工事を実施する長島港（諸浦地区）

条例

レジャーランド太陽の里の休館日を変更

レジャーランド太陽の里を民間業者の管理に移行したことに伴い、休館日を変更するため、レジャーランド太陽の里設置及び管理に関する条例の一部を改正した。
これにより同施設の休館日は、毎月第2月曜日。ただし、この日が国民の祝日等に当たる場合には、その翌日となる。



休館日が変更されたレジャーランド太陽の里

条例

暴力団排除条例を定める

暴力団の排除を推進し、安全で平穏な町民生活を確保するとともに、社会経済活動の健全な発展に寄与するため、長島町暴力団排除条例を制定した。

町職員の給与を一部改める

人事院と鹿児島県人事委員会の勧告により、長島町職員の給与に関する条例等の一部を改正した。

獅子島乗合自動車を廃止

有償運行による獅子島乗合自動車を廃止するため、長島町獅子島乗合自動車の設置及び管理に関する条例を廃止した。

ひとり親家庭医療費助成の一部を改める

児童扶養手当法施行令の改正により、助成対象児童の範囲が拡大されたため、長島町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正した。

子ども医療費助成の一部を改める

自己負担金の医療保険各法の規定による医療給付の費用に、訪問看護費と家族訪問看護療養費を追加し、他医療費助成事業との均衡を図るため、長島町子ども医療費助成条例の一部を改正した。

道路構造の技術的基準を定める

道路法の一部改正に伴い、町道の構造の一般的技術基準を定めるため、長島町道路の構造の技術的基準に関する条例を制定した。

道路標識の寸法等基準を定める

道路法の一部改正に伴い、町道に設ける道路の案内標識等の寸法、文字等の大きさを定めるため、長島町道路標識の寸法等の基準に関する条例を制定した。

準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める

河川法の一部改正に伴い、準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定めるため、長島町準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例を制定した。

決議

TPP交渉に関する決議

環太平洋連携協定（TPP）交渉にあたり、その都度における十分な情報の開示と国民の声を聞き、十分な国会討議を深め、国益にそぐわない場合は、交渉脱退や国会批准を行わない、断固たる決意で臨まれるよう強く求める決議を、町議会議員の提案により決議した。

環太平洋連携協定（TPP）交渉における慎重な交渉を求める決議

安倍晋三首相は、3月15日環太平洋連携協定（TPP）交渉への正式表明をされました。TPP交渉については、情報不足もあり、国民の意識の醸成がなされていない中での正式交渉参加表明であり唐突感がぬぐいきれません。

国民の間にはまだまだ様々な不安の声があります。

特に、農業問題は、国土の狭い日本にあっては、地理的に制約された中で農業経営を営まれており、農産物の関税が撤廃され、安い農産物が輸入されれば、農産物価格の低下を招き農家経営が成り立ちません。農業農村の壊滅的打撃が予想され、地方の社会基盤の崩壊に繋がるものと思われまます。

本町においても、米や畜産、甘藷等を中心に大打撃が予想され、農家の経営が成り立たなくなり、農家の離散、農地の荒廃、集落の衰退が懸念され、地方自治体の崩壊にまで繋がいかねません。また、世界に類を見ない日本の優れた国民皆保険制度の瓦解や、食の安心安全への不安など、国民は多くの深刻な不安を持っています。

正式交渉にあたり、その都度における十分な情報の開示と、国民の声を聞き、十分な国会討議を深め、国益にそぐわない場合は、交渉脱退並びに国会批准を行わない、断固たる決意でTPP交渉に臨まれるよう強く求めます。

以上、決議する。

指定管理

総合交流ターミナル施設の指定管理



総合交流ターミナル施設

長島町総合交流ターミナル施設の効果的かつ効率的な管理を図り、住民サービス向上に役立てるため、北薩森林組合を指定管理者として指定した。
（期間：平成25年4月1日～平成30年3月31日）

指定管理

日本マンダリンセンターの指定管理



日本マンダリンセンター

日本マンダリンセンターの効果的かつ効率的な管理を図り、住民サービスの向上に役立てるため、北薩森林組合を指定管理者として指定した。
（期間：平成25年4月1日～平成30年3月31日）

その他

新たに生じた土地の確認

長島港（本浦地区）港内の公有水面埋立で新たに生じた土地（3カ所）を確認した。

字の区域を変更

長島港（本浦地区）港内の公有水面埋立で新たに土地が生じたので、字の区域（3カ所）を変更した。



埋立て整備された長島港（本浦地区）

下塩見議員に自治功労者表彰

鹿児島県町村議会議長会から、下塩見浩議員が永年勤続（町議会議員として在職15年以上）の自治功労者として表彰された。



下塩見 浩 議員

その他

農業委員会委員を推薦

平成25年3月19日に長島町農業委員会委員の任期が満了となったため、市尾水代氏（菅牟田）、脇田恵子氏（蔵之元）、原口秀昭議員（小坂）を農業委員会委員として町議会から推薦した。
（任期：平成25年3月20日～平成28年3月19日）

教育委員会委員の任命

長島町教育委員会委員の久保祐紀氏（川床上）が平成25年5月10日で任期満了となるため、引き続き同氏を教育委員会委員として任命することに同意した。
（任期：平成25年5月11日～平成29年5月10日）

条例

公営住宅等の整備基準を定める

公営住宅法等の一部改正に伴い、公営住宅等の整備基準を定めるため、長島町公営住宅等の整備基準に関する条例を制定した。

その他

総合事務組合の規約変更

南薩地区消防組合の解散等による鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少などにより、同組合の規約を変更することを可決した。

過疎地域自立促進計画を一部変更

長島町過疎地域自立促進計画の一部に追加や変更が生じたため、同計画の一部を変更した。

損害賠償の和解

国道389号の汐見地内の路上において、町が雇用する道路作業員が草払い中に石をはね、通行する自動車の窓ガラスを破損させたことから、損害賠償に関する和解することを可決した。

一般質問 町政を問う

川上 勇 議員



鷹巣診療所の整備促進を

川上議員

「ほとんどの町民が鷹巣診療所は、建物が老朽化し一日でも早く新築してほしいと思っ

れている。

①新築に向けての取り組み状況は。

②町民の大事な医療福祉という観点から、最優先して町総合振興計画どおり平成26年度に事業実施することについて伺う。

早く事業の方向性を決定

答弁 町長 ①本町での診療所の適正規模、概算事業費および補助



整備促進が望まれる鷹巣診療所

事業等についての調査を事務長に指示している。

②建設する場所、財源および医師の確保等の問題もある。関係機関、関係者と十分協議するためしばらくの期間がほしい。町民の医療を守るため大事な拠点であるので質問の主旨に添えるよう努力する。

中学校統廃合計画を問う

川上議員 長島本島の4中学校における生徒数も学級数も平成29年度までの6年間で増加すると本町教育要覧に

ある。

1校ずつとすべきとの根強い町民の意見がある。次の点について教育長に伺う。

①通学時間の延長により地域、家族とのふれあい等の制約がある。学校、家庭、地域との連携による総合教育力の低下は。

②中学校1校にするこ

③中学校統廃の長所短所を住民に十分説明

すること。
④アンケート調査を実施して、学校統合を慎重に推進する。

機運醸成程度により年次の実施

答弁 教育長 小学校は複式学級の解消、中学校は免許教科外担任の解消を目的として統廃合を推進する。実施計画は、平成29年度から統合の機運醸成の程度により年次的に実施する。

①子どもが学びやすい学校づくりが大人の責任である。

②教員の地域での役割もあるが、学校内での充実を目指す。

③資料により説明しているので十分理解されている。

④各校区10名程度の検討委員が、地域の意見を集約されるのでアンケートは実施しない。

さつまいもの生産拡大対策を問う

川上議員 さつまいもは、以前から農家の生活を支えてきた。最近、その生産量が激減している。

①イノシシの被害対策は。
②さつまいもの生産拡大と地産地消を推進し、焼酎原料の安定的供給と農家所得の向上を図ることについて伺う。

焼酎用、加工用への転換を

答弁 町長 ①電気柵および進入防止柵等への補助の拡充。イノシシ対策の要請があれば、その実現に努力する。

②担い手農家への農地の流動、販売価格の有利な焼酎や加工用への転換を推進する。

「東分遣所の庁舎建て替え及び統廃合の考え方」を伺う
福永議員 消防分遣所の建て替え統合については、「行革推進委員会」「町有施設のあり方検討委員会」の答申を踏まえ、「東分遣所建設地検討委員会」を設置し検討されている。

老朽化している分遣所の建て替えは、早い時期に建設すべきであると認識するが、長島分遣所との統合については地域住民の安心・安全と財産を守り、また、救急患者等の病院



老朽化している東分遣所

への輸送にしても同様である。
特に各集落における過疎化と高齢化は著しく、町民の消防団活動に対する期待感は、ますます高まっていることから、町民の理解を得るには大変厳しい状況にあり、当分は現状を保ちながら進めることが安心安全なまちづくりができると思われる。

①町有施設のあり方検討委員会は、町長からの委嘱を受け、15の町有施設について、6項目の内容でアンケートをとり検討し答申がなされている。この答申

は、町民にとっては大変重たい内容であるが、委員の意見は現状維持（2カ所）とすべきが多数のアンケート結果となっている。
②答申通りに、将来、分遣所を統合するのであれば、執行部が最初にすべきことは、まず、町民の十分な理解を得るために公民館長等と調整を図るべきである。

小川 武男 議員



魅力ある観光地づくりの推進を

長島の玄関口の整備を
小川議員 これまで、
県や町の事業で魅力あ
る観光地づくりが行わ
れ観光客も増えている
。さらに多くの観光
客に訪れてもらうに
は、事業の推進が大事
である。

そこで、長島玄関口
である火ノ浦陸橋周辺
のブロック部は石張り
に、法面部は石積み、
そして陸橋は石張りで
擬装するなどの修景工
事を行う考えはないか
伺う。

魅力ある観光地づくり
事業に申請中

答弁 町長 長島ぐ
るっと一周フラワー
ロード事業も完成が間
近であるが、玄関口の
火ノ浦陸橋周辺整備が
遅れている。平成25年
度、県の魅力ある観光
地づくり事業に申請し
ており、採択後事業を
推進する。

高串崎公園の整備推進
を

小川議員 高串崎公園
は、魅力ある観光地の
一つであるが、整備が
遅れている。そこで、
老朽化した施設は撤去



施設が老朽化している
高串崎公園

農園オーナー制度の設
立を

小川議員 昨年実施し
たバレイシヨ掘り取り
を

獅子島の廃校跡地活用
を

小川議員 獅子島の廃
校施設を体験型宿泊施
設に改築し、季節に
合わせたイベントツアー
を計画して入り込み客
を増やす考えはないか
伺う。

し、新たに天草の島々
や海峡を望める展望施
設の建設、周回道路の
整備、ツワブキ等の植
栽を行い、四季を通じ
て自然に触れられる森
林公園に整備する考え
を伺う。

イベントは好評であつ
た。そこで、3坪程度
の区画でバレイシヨや
甘藷の植え付けから収
穫まで体験できる農園
オーナー制度を設立す
る考えはないか伺う。

答弁 町長 獅子島の
観光振興は、特定ふる
さとおこし推進事業等
で、獅子島の魅力を創
出し、交流人口の拡大
を図ってきている。

実施に向けて取り組む
答弁 町長 町有施設
あり方検討委員会の答
申を踏まえ、現在ある
鷹巣運動場、総合町民
体育館、武道館等を含
めた形で総合運動公
園を整備したいと考え
ている。

答弁 町長 これまで
財政面の問題もあり、
手をつけていなかっ
た。今後は、ツワブキ
を広い範囲に植栽して
管理しやすい公園に
し、一年間を通して町
内外の方が楽しめる自
然公園に整備していく
計画である。

答弁 町長 以前観光
農園の計画をしたが、
農地の確保や農園の管
理体制等に問題があ
り、実現に至らなかつ
た経緯があり、難しい
と思う。今後は、作付
け農家を紹介幹旋し、
掘り取り作業を体験す
る方法で入り込み客の
誘致が取り組めればと
思う。

答弁 町長 獅子島の
観光振興は、特定ふる
さとおこし推進事業等
で、獅子島の魅力を創
出し、交流人口の拡大
を図ってきている。

現在、少子高齢化が
進む中で、健康増進や
生涯学習の需要が高
まっている。

総合運動公園の
整備を急げ

小川議員 これまで総
合運動公園整備につ
いて議論があり、鳥瞰
作成費が当初予算に計
上されている。

鷹巣運動場を核とし
て整備し、スポーツ施
設を利用した健康増進
やレクリエーション、各
種イベントの開催等、
町の活性化を図って
きたい。

総合運動公園は、陸
上競技場を中心に1km
程度のウォーキング
コースや多目的広場を
整備し、子どもから高
齢者まで利用できる施
設の整備が必要と思
う。今後の推進状況を
伺う。

今後、鳥瞰図の作成
や運動場整備準備委員
会等を設置するなど、
実施に向けて取り組ん
でいく。

※鳥瞰図

地表面を上空から斜
めに見下ろした様子を
図に描いたもの。

濱 実男 議員



獅子島架橋の実
現は

濱議員 私達島民は、
約30年前に獅子島振興
会、平成6年に獅子島
架橋建設促進期成会を
立ち上げ、「甌の次は
獅子島に」をキャッチ
フレーズに、毎年、国、
県に陳情を繰り返して
いるが、県の離島振興
計画には、記載されて
いない。このことを町
長はどのように捉えて
いるか。

答弁 町長 県の離島
振興計画の中で、長島
地域振興計画方針の中
に「獅子島架橋の実現
に向け、今後も町にお

いて夢追い獅子島架橋
基金の積立を行って
く」という文言で盛り
込まれる見込みであ
る。この記述がなされ
ると、県の離島振興計
画に初めて獅子島架橋
という文言が登場する
ことになる。

これは、町民、島民
の活動が理解されたも
のと思う。この一歩は
確実な前進であり、将
来に夢をつなぐ希望と
位置づけていいのでは
ないかと思う。

今後とも全力で獅子
島架橋の夢の早期実現
に向けて挑戦してい
く。

獅子島の振興策
は

濱議員 活力の象徴で
あった2つの小学校跡
地は。

答弁 町長 地元の意
見を取り入れて方向性
を決めたい。協力が得
られるようであれば、
補助事業等を導入し
て、施設の活用を図
りたい。

価格補償制度などの充
実を国に強く要請し
ていく。



獅子島架橋の構想図

漁業、農業の振興は
濱議員 漁業者は、漁
獲の減少、魚価安、燃
油資材の高騰で苦しい
経営状況が続いてい
る。

答弁 町長 全ての担
当課長に指示をしてい
る。町と地域が一体と
なって取り組み、活路
を切り開くよう努め
る。

答弁 町長 離島再生
交付金を活用してい
く。養殖においては、



田中 正隆 議員

公共事業における施設用地未登記を急げ

田中議員 本町は、合併して7年を経過している。合併前1600筆の公共用地が未登記のままになっており、このままにしておくことで町と地権者と将来において紛争等がおこることになるので、計画的に早急に善処されたい。

答 井 町長 普通財産は、速やかに手続きをとり、平成25年度当初予算に未登記対策の予算計上し、早急な体制づくりを行い、年次的に解消するように取り組んでいく。

傍聴においでください

次回定例会は **6月上旬** 開会予定です

長島町議会の本会議は公開されていて、どなたでも傍聴することができます。

次回定例会は、6月上旬の開会を予定しています。皆さんの傍聴をお待ちしています。

なお、役場ロビーや長島町ホームページでも議会中継を見ることができます。



常任委員会の審査報告

各常任委員会の主な審議内容を紹介します

総務民生常任委員会 委員長 小川 武男

▼総務課関係

問 集落間交流事業の主な内容は。

答 旧両町間で訪れたことのない所、特に獅子島を視察研修してもらった際の交通費相当の補助で、現地で食事をとる条件がある。

問 防災無線デジタル化の進捗状況は。

答 現在、九州地方整備局と協議中であり、財源の問題、その他検討項目を調査検討し、早ければ6月議会に提案したい。

▼企画財政課関係

問 獅子島活性化航路補助に150万円計上しているが内容は。

答 平成24年度の受診率は、県下で高い。各種のがん検診を一括申込みにより、受診しやすい体制をつくり、57集落にレントゲン車が出向き、同時検診を行い受診率の向上を図る。

問 国民健康保険特別会計は、平成23年度1億8500万円程度の赤字であるが今後の見通しは。

答 診療分が年々伸びる傾向にあり、今年度予算も3%の伸びで算出している。保険料は繰越金や基金積立があり、しばらくは現状の保険料で運営できる。

問 川床診療所は4月から休診であるが、今後の方針は。

答 川床診療所は、指定管理者等で経営を任せるか、鷹巣診療所を医師2名体制にして対応する方向等を考えているが、医師が見つからない状況である。

問 納税の口座振替の



過疎地域自立促進計画を一部変更し、改良される薄井港線

問 戸籍保管庫等委託料の内容は。

答 戸籍の副本データを全国2カ所(北海道・大阪)に分けて保管するもので、本町分は北海道に保管する。

問 川床診療所は4月から休診であるが、今後の方針は。

答 職員による「としび隊」は実施していないが、代わりに民生委員を通じて要援護者の

台帳に登録してある、430世帯を訪問している。高齢者の実態調査は45歳から65歳までの若年者調査と65歳以上の高齢者調査と分か

れており、1000人を対象に実施する。

▼委員会所見

状況は。答 口座振替は、約37%である。今後は口座振替を勧め、収納率の向上を図っていく。

離島等医療・福祉推進モデル事業等9カ所の現地調査を行った。獅子島診療施設等に老朽化が見られるので、不具合な箇所は、その都度整備してほしい。また、防火水利の充足率が低いので、充足率を高めて町民の生命と財産を守ってほしいとの意見があった。

▼総合管理課関係

問 備品購入109万6000円の内容は。

答 購入後16年経過している軽トラックを買い換えるもので、主な使用目的は、イベント等の荷物の搬入搬出やゴミの収集運搬に使用する。

▼診療所関係

問 川床診療所は4月から休診であるが、今後の方針は。

答 川床診療所は、指定管理者等で経営を任せるか、鷹巣診療所を医師2名体制にして対応する方向等を考えているが、医師が見つからない状況である。

▼税務課関係

問 納税の口座振替の

建設経済文教常任委員会 委員長 下塩見 浩

▼水産加工課関係
問 漁業の加工グループは、どの程度の団体数までを計画しているか。
答 今の事業は、平成28年度までの計画だが10団体できたので、今後募集は行わない。

▼耕地課関係
問 川床しいなし公園の維持管理について検討できないか。
答 地元公民館長等の意見を聞きながら検討する。

▼教育総務課関係
問 備品購入は国からの教科指定か、各小中学校同じ備品を購入する予定か。
答 国が児童生徒の理数ばなれを防止するため、今回の経済対策に盛り込んだものであり、教科が指定されている。各学校から不足する理科備品について要望を聞き購入する。

▼農林課関係
問 道の駅改修設計委託料の内容は。
答 道の駅長島から売り場が狭いと以前から要望があり、外周に屋根掛けをして売り場面積を広げるための工事を計画している。



改修設計が予定されている道の駅長島

▼建設課関係
問 瀬戸小島線交付金の事業内容は。
答 だんだん市場駐車場の道路が変則交差点であるので、正常な4差路にする計画である。また、この交付金に伴う効果促進事業という補助事業があり、その補助事業を活用し一括して駐車場整備も計画している。

▼委員会所見
当委員会の意見として、まずマンダリンセンターの管理運営について、当初の設置目的と現在の状況で少し違ってきている。今後は施設を生かした将来の方向性をはっきりと定めるべきである。
現在、東産業開発(株)と(株)サメシマフーズが運営している、両施設の目的は、農産物の加工等を行い特産品として付加価値を高め、農家収入の安定に資するため設置された施設である。今後は、効果的に対応するため、民間独自の能力を活用し、経費の節減等も図るべきである。
本島の学校統廃合について、各小学校に推進委員会を立ち上げ、枠組みを決定するほか本島地区は大変な作業になると思う。ぜひ、学校統廃合に専任の職員を置き、核となる組織の充実を図るべきである。

海外(ニュージーランド)視察研修報告

副議長 児島 薩男

町執行部から花のまちづくり推進海外研修の参加要請があったので、町議会を代表して参加した。

研修には、町執行部から町長他3名、議会1名、観光協会1名、商工会1名、景観団体代表3名、NPO法人代表1名、育苗施設代表1名、一般住民(通訳)1名の計13名が参加した。
今回の研修目的は、本町の花のまちづくり

を推進するため、海外の先進地における花づくりに対する行政の取り組み、花フェスタ開催時のボランティア団体の取り組みなどがあった。
研修地であるニュージーランドは、地球上の広大な土地の中で最後に発見された180年前に誕生した最も新しい国であること。近年は南太平洋諸国やアジアから増えた住民の影響を受け、活気溢れる多文化の融合した国家とこのことである。
今回の研修地クライストチャーチ市では2011年9月4日、マグニチュード7.0の地震が発生し死者185人(この内邦人28人)の犠牲者がたことも報道された。
現地は、崩壊した瓦礫等はほとんど片付けられていたが、跡地は更地のままで建設予定

のある建物は少ないとこのことで、復興にはかなり時間が必要と現地人の説明であった。
われわれ一行は、2月27日10時30分鹿児島空港発、ソウル経由、機中泊。2月28日8時20分(現地時間)オークランド着、移動空路クライストチャーチ空港12時20分(現地時間)着。15時からフラワーフェスティバル担当者による研修を受けた。
研修の主な内容は
Q 市民の花に対する意識は。
A 花は市民の共有財産と理解している。
Q フェスティバル開催による予算は。
A 市が2分の1・寄付が2分の1(スポンサーからの寄附等)。
Q 協力団体は。
A 36団体(内現金協力団体11団体)。
Q フェスタ開催期間のボランティアは。

感想
長島町は主に国道・県道など主要道路に花壇等をつくりフラワロードとして線的花壇に対し、クライストチャーチ市は広い公園などを活用したフェスティバルを目的に開催している点に違いがある。
クライストチャーチ市は人種の問題もあると思うが、住宅周辺が整然としている。公園が市内に600カ所以上あり、1カ所の面積が広いところは日比谷公園の15倍と壮大である。また、各家庭が花を植栽し、花に対する興味があること。
以前、長島町で菜園コンクールを行い、優良農家を表彰した経緯があるが、クライストチャーチ市では自宅の庭の美化コンクールを開催している。表彰を受けた庭を拝見したが、手入れが行き届き



きれいに整備された家庭の庭

芝と花できれいに整備されていた。
ボランティア団体職員の話では、市民の花に対する意識は「花は市民の共有財産」との認識である。
本町における花のまちづくりを進めるには、今以上に町民が花に対する興味を持つようなムードづくりに取り組む必要があると感じた。今後、花壇の管理等はすべてボランティア団体でできる体制づくができればと感じる。



ま ち の 話 題



獅子島小学校の開校式

歴史と伝統引継ぎ新校開校

幣串小と獅子島小の歴史と伝統を引き継いで統合した「獅子島小学校」の開校式が4月8日、同校体育館で開催された。

獅子島島内の学校等が全て集約された同校は、幼稚園を併設する小中一貫校として新たなスタートを切った。今後は幼・小・中の連携を深めた教育が推進されていくことになる。

小学校と幼稚園が入る2階建ての新校舎には、本町で初めて全室に冷暖房が完備された。

色とりどりの春を満喫

第3回夢追い長島花フェスタが3月30日に開幕。今年は長島サンセットの丘をメイン会場、川床ふれあいの郷をフラワーガーデンとして、5月6日まで開催される。

ぐるっと一周フラワーロードを含めると5種50万本の花々が植栽され、色とりどりの春が来場者の目を楽しませている。

期間中は、フラワー体験教室やスタンプラリー、バレイショ収穫、じゃがいも祭りなど趣向を凝らした催しが企画されている。



花フェスタのメイン会場「長島サンセットの丘」

◆編集後記

両町が合併し7年目を迎え、新年度がスタートしております。

議会では昨年からの、二元代表制としての責任を自覚し、町民の付託に応え、町民の皆様とともに歩む議会を目指し、「議会活性化調査特別委員会」を立ち上げ、初めての「町民との意見交換会」を開催し、住民との交流を図りました。議会基本条例の制定並びに定数についても議会会で提案し、可決されたところであります。

また、質問方式も「一問一答方式」とし、委員会の代表質問も導入することになり、定数は来年4月に行われる選挙から2減の14人になることも決定しております。

今後は、更なる「開かれた議会」を目指し、また、後世に残るような「まちづくり」に取り組んでまいります。
(福永)

- 【編集責任者】 植元 敏光
- 【編集委員長】 林 義明
- 【編集副委員長】 古田 一博
- 【委員】 川上 勇
- 福永 伸親
- 石橋 東